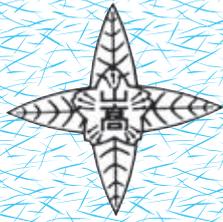


第74号

編集・発行
 日本大学山形高等学校
 図書部
 図書委員会
 発行日
 平成31年2月20日
 (株)大風印刷



日大山形

図書館報

私の読書道

第19回

読書のすすめ 2

教諭 小笠原 篤 (数学)

現代は、メディアの進化やインターネットの発展によって、ツールがあれば、容易に情報を得ることができ。短時間に料理され、短時間に食されるファストフードのようにスピードが重要視されるような風潮がある。何か楽しいことがあっても、一時的な心地良さで終わってしまうもので溢れている。現代人には、いつも何かに追われ慌ただしく時を過ごし、疲労感が蓄積されていく様が多く見られる。読書は、それとは全く反対の場所にあるように思える。時間を気にせず、羅列された活字を読み、想像の翼を広げ、自分だけの世界に飛び立つことができるものであり、癒しへといざなってくれるものなのだ。しかし、何をするにも面倒だなど思う人には、無縁なものである。

では、読書にはどんないいことがあるのだろう。

第一に、純粹に、楽しさ、面白さを感じることができ。活字を通して情景のイメージをはかり、作者と又は登場人物と自分を重ねる。そのイメージは自分だけのものであり、映画のように押しつけられたものではない。自分の経験、これまで見てきたことがストーリーにあわ

せて頭に浮かぶのである。この想像力が、学習、人の意見などの「理解」につながる。理解するとは、画像として納得できる感覚を持つことである。これまでの経験が乏しく、見てきたものが少ないゲーム世代の若者にはイメージが図れず、本を読んでも面白いことが少ないかもしれない。

第二に、学ぶことができる。様々な分野の知識、思想、アイデア、やり方を知ることができ、自分を成長させ、オリジナリティを持つことにつながる。

第三に、多くの言葉を覚え、表現力を身につけることができる。頭には浮かんでいるが言葉にできないということは誰もが経験する。言葉を多く知っていれば、適切な言葉を選ぶことができ、表現力が豊かになり、自分の考えを相手に届けることができる。加えて、相手の発信する意思を的確に把握することができ、円滑なコミュニケーションをはかれる。

いいことばかりで、読書に損はない。ここに挙げたことは、読書の結果、それがついてくるといえるもので、面白そうな本、興味を覚えた本が目についたならば、手当たり次第に読んでほしいのである。きっと、自分の生き方を変えてくれる本に出逢える。



※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっています。

図書館オリエンテーションを楽しむ やってみよう!ビブリオバトル

今年度から図書館オリエンテーション時に、各クラスでビブリオバトルを実施しています。本を通して、クラスメイトのことを知る一つのきっかけにしてほしいと思います。企画しました。今回は一人三分で、本を紹介しました。

図書館の利用方法の説明の後、五人のグループに分かれ、ビブリオバトルについて説明を受け、それぞれ紹介したい本を探します。その後、選んだ本を一人三分で紹介します。全員の発表が終了した後、各グループのチャンプ本を決しました。各グループから代表者一人を決め、クラス全員の前で発表したクラスもありました。

今回初めてビブリオバトルを知り、実際にバトルを行う生徒が大半でした。館内には生徒達の本を紹介する声が響き、それを聞いている生徒も、興味深く耳を傾けていました。短い時間でしたが、ビブリオバトルの雰囲気味わっていただいたのではないのでしょうか。



受賞おめでとう! 多読クラス賞&ベストリーダー賞

●多読クラス賞

十二月十九日(水)の終業式で、多読クラス賞の表彰が行われ、各学年一位のクラスに、江口校長先生から賞状が渡されました。受賞したクラスの図書委員からは、驚きと喜びの声が聞かれました。



1年8組



2年11組



3年9組

- ★1年8組 4.2冊
- ★2年11組 2.9冊
- ★3年9組 6.9冊
- 全校生全体 1.3冊

※平成30年4月～11月までの貸出冊数
÷各クラスの数で集計

●ベストリーダー賞

個人の貸出冊数の集計の結果、学年別とコース別の部門で、ベストリーダーが決定しました。受賞した四十三名の皆さん、おめでとうございます!

学年別の部

- ★1学年1位 118冊
- ★2学年1位 45冊 2名
- ★3学年1位 65冊

コース別の部

- ◆スポーツコース1位 15冊 2名
- ◆進学コース1位 20冊
- ◆特進コース1位 17冊

※各部門とも、平成30年4月～平成31年1月までに、4冊以上読んでいることが条件

としよかんニュース

先輩方の思いに感謝

本の寄贈をしていただきました

日大山形高校校友会から、図書の寄贈がありました。寄贈は今回で二七回目になります。山新グループの本校卒業生による会で、会長は佐藤宏樹氏です。これまでに寄贈された本は、三三八冊にもなります。今回も、皆さんの知的興味を惹くような本をいただきました。先輩方に感謝しつつ、学習や調べ物に大いに利用してほしいと思います。



明るく見やすくなりました

～掲示板に明りが灯る～

図書館の入口付近に、図書館からのお知らせの掲示や、持ち帰ることができるリーフレットやパンフレットを置いてあるスペースがあります。それらが見やすいように、掲示板に電灯が取り付けられました。今までより見やすく、手に取りやすくなりました。点灯は開館している目印になっています。



平成三十年度 日本大学山形高等学校 芸術鑑賞会

ジャズクレ Junction!

平成三十年六月二十一日(水) 山形市民会館 大ホール

音楽の力

三年五組 板垣 朱莉

六月に芸術鑑賞会が行われ、「ジャズクラ・ジャンククション！」という音楽コンサートへ赴いた。会が始まる前はあまり気が乗らない生徒もいたようだが、演奏が始まると皆演奏の虜になっていた。

会場の目を奪ったのは、弦楽アンサンブルの「チャルダッシュ」である。五重奏で演奏されたこの曲は、クラシックの不思議な世界へ皆を引き込んだ。またマリンバアンサンブルで演奏された「ルパン三世のテーマ」や、合同演奏の「千本桜」は、皆が知っている曲ということもあり、手拍子をしたりして会場全体が楽しんでいた。

芸術鑑賞会は演奏者の技術はもちろん、音楽の力を実感できる良い機会だった。また、普段聞かないジャンルの音楽を聞いて、異なる音楽の世界を知り、更に音楽に対して興味をもつことができたのではないだろうか。今後このような機会があったら、また鑑賞に行きたい。



平成三十年度

図書館講座

読み聞かせをしよう

今年も図書館講座「読み聞かせをしよう」を開講しました。今年度の参加希望者は八名。本番の二週間前から三回の練習会を持ち、十一月六日(金)本番はおおぞら幼稚園に行き、園児と学童クラブの小学生に読み聞かせを行いました。

講座後のアンケートより

・将来、保育士を目指しているので、今回はいい機会になりました。時間が合えば、次回も参加したいです。(二年女子)

・本を選ぶところからとても大変で、どんな本が喜ぶかなあと思いながら選びました。(二年女子)

・練習の際は、自分の読むペースはどれくらいなのかタイムを計って練習をして、自分のタイムを知ることによって自信を持つことができました。(二年女子)

・練習を通して少しずつ自信が持てました。(二年男子、二年女子)

・自分もこんな頃があったなと心が温かくなりました。(三年女子)

・子どもは純粋。子どもは真剣。最後まで集中して聞いてくれてたのでうれしかった反面緊張もした。(二年男子、二年女子)



図書委員会活動報告

より良い図書委員会にするために

前期委員長 三年九組 二瓶 真衣



先輩方から学んできたことをしっかりと受け継ぎ、より良い図書委員会にするために、現状維持に留まらず、何か新しい取り組みに挑戦したいと考え、一年間活動してきました。

様々な活動の中で特に印象に残っていることは、新しい取り組みとして、執行部でビブリオバトルを行ったことです。私は、ビブリオバトルを通して、より多くの方々に本の魅力を伝えることができると考え、全校生徒を対象に行うという目標がありました。しかし、実現には至りませんでした。来年度、是非この取り組みを実現して欲しいです。そして他にも様々な取り組みに挑戦していった下さい。

よりよい図書館を目指して

後期委員長 二年十三組 阿部 壮男



後期図書委員会が発足し、数カ月が経過しました。思っていたよりも大変な仕事が多いですが、各クラスの図書委員と協力し、より充実した活動にしたいと思っています。

今年度は昨年度よりも、本を借りていないクラスが減りました。これからもより多くの生徒が本を借り、借りていないクラスがさらに減るよう、執行部を中心に図書委員と話し合い、また生徒の皆さんの意見を取り入れながら、積極的に活動していきたいと思っています。

まだまだ経験も足りなく、迷惑をかけることも多いと思いますが、一年間よろしくお祈りします。

活動目標 ● より多くの人が様々な本に出会える場所に キャッチフレーズ ● 小さな手から、大きな世界へ

常時活動

月～土曜日の6つの班があり、A(読書推進)、B(資料整備)、C(広報データ)の3グループに分かれて、活動しています。



Aグループ



Bグループ



Cグループ

図書委員研修会

十一月一日(木)の午後、村山地区の学校が集まり、図書委員研修会が行われました。本校からは、図書委員会執行部の阿部と原田が参加しました。講師は、仙台市在住の「絵本専門士」伊藤裕恵氏。
前半は講演でした。スーツケースにいったばいに絵本を詰め込んでやって来て、講演の時にはそれを並べいろいろな話をしてくださりました。ストーリーテリングも披露してくださり、会場一同なかなか聞けない話に引き込まれていきました。後半はグループに分かれ、自分の用意してきた絵本に帯を作り、それも含め紹介するという時間でした。学校は違えど同じ図書委員の生徒による紹介に耳を傾けたり、自分の好きな本を紹介したりと、興味深い交流の時間となりました。
すべて終了したあとに、指導してくださった伊藤さんと写真も撮り、楽しく充実した午後が終わりました。



年間図書貸出ベスト10

書名	著者名	請求番号
1位 『盾の勇者の成り上がり2』	アネコユサギ	913.6 ア
2位 『緋弾のアリア』	赤松 中学	913.6 ア
3位 『君の隣臓をたべたい』	住野 よる	913.6 ス
4位 『A X アックス』	伊坂 幸太郎	913.6 イ
5位 『掟上今日子の旅行記』	西尾 維新	913.6 ニ
6位 『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』	神田 桂一 菊池 良	913.6 カ
7位 『キノの旅2 the beautiful world』	時雨沢 恵一	913.6 シ
8位 『羊と鋼の森』	宮下 奈都	913.6 ミ
9位 『コンビ二人間』	村田 沙耶香	913.6 ム
10位 『めんどくさくて、「なんだかやる気が出ない」がなくなる本』	西多 昌規	498.3 ニ

平成31年 1月31日現在



今年度は、ライトノベルや、映画・ドラマ化された小説が多く読まれました。その中でも私のオススメは、10位の『めんどくさくて、「なんだかやる気が出ない」がなくなる本』です。この本はタイトルの通り、やる気が出ないときや、すべての事が面倒くさい、と感じているときに読んでほしいと思います。図書館には様々なジャンルの本があるので、ぜひ来てみてください。(2年 恒儀 晃太)



読みたい本が貸出中のときはリクエストをしてください!!

おめでとう! 全国高等学校ビブリオバトル2018山形県大会準優勝!



十月二十八日(日)に山形市中央公民館で、全国高等学校ビブリオバトル2018山形県大会が開催されました。本校からは澁谷昌典君が参加し、準優勝に輝きました。緊張したようですが、自分の言葉で本の魅力を伝えていました。

ビブリオバトルは発表だけではなく、観戦のみの参加もできます。発表者の熱いプレゼンテーションを見て聴いてみませんか。

ビブリオバトルに参加した感想

三年七組 澁谷 昌典

私は今回、『博士の愛した数式』という本を主題として発表しました。この本は、第一回本屋大賞を受賞した作品である。私がこの本を初めて手にしたのは、小学生だった。中学生の間も幾度も読み返し、高校生の今改めて読むと、登場人物同士が大きな影響を受けあい、成長している事に感銘を受けた。そして、作中に出てくる数学の美しさが私にも理解できるようになっていた。自分自身の成長も感じ、読むたびに新たな学びがあるのである。

将来この本をまた読み返す時に、そのときの自分が新たに感じることはなんだろうか。また、私の発表を聞いて読んでくれた人が、何を感ずると思うのか。人それぞれで読み取り方が変わる本だということ、会場でプレゼンテーションしてきた。

結果は準優勝で悔しい結果ではあった。しかし、この大会に出て、山形県の各高校から選抜された方々の発表は、学ぶことも非常に多く大変有意義な時間であった。

これを機に『博士の愛した数式』を初めて読んでくださったたり、読んでくださる人も再度読み返してくれるまでが、私の発表だと思っている。興味があれば、是非手に取って頂きたい。また、大学に進学しても、このような機会があれば参加してみたいと思っている。



私の一冊



『キノの旅 the beautiful world』

この本はシリーズ化されていますが、基本的に何巻からでも読めます。内容は「キノ」と名乗る旅人が、モトラドと呼ばれる二輪車に乗って旅をするという物語です。キノから「エルメス」と呼ばれるモトラドもいます。エルメスは喋ることができません。旅の途中での、キノとエルメスの会話のやりとりが面白いです。キノとエルメス以外の旅人の話もあります。例えば、キノの師匠が若かった頃の話や、元々王子だった人が、国を出て旅をする話など色々あります。登場人物達の会話や、やりとりなど面白いところが盛りだくさんなので、ぜひ読んでみてください。



時雨沢 恵一 著

一年六組 滝口 洸

『また、同じ夢を見ていた』

学校に友達のない小柳奈ノ花は「尻尾の短い彼女」、その彼女をきっかけに知り合った「アバズレさん」、手首に傷のある「南さん」、大きな木の家に住む「おばあちゃん」との出会いを通じて成長していく。人生とは、幸せとは何か。少し不思議で、温かく、優しい物語。



住野 よる 著

代表作『君の隣を食べたい』に続く、住野よるの第二作。登場人物たちによる「人生とは〇〇」という言葉が印象的で、じわじわと心に響く。読めば読むほど、一つ一つの文章にこめられた意味がわかり、涙すること間違いなし。この作品はもちろん、住野よるの他の作品も含め、ぜひ読んでほしい。

二年十二組 小田切 星夢

『億男』

この本は、お金に関する心の持ちよう、本当に大切なことについて、読者に考えさせられるような本です。

主人公の一男は、ある日商店街で福引きをして、宝くじ十枚を当てました。失意のなか、番号を確認すると三億円が当たっていました。お金の使い方に迷った一男は、親友の九十九に相談ののつてもらいました。次の日の朝に起きると、一男の三億円も親友の九十九も姿を消してしまっていたのでした。そして一男は、九十九と消えた三億円の行方を探し回る中で、「お金と幸せの答え」を見つけていきます。

とても読みやすい文章で書かれており、普段あまり本を読まない人でもサクサク読み進めることができるのでとてもオススメです。



川村 元気 著

三年六組 吾妻 祐伽子



ライブラリーブोट

～図書館・図書委員この1年～



平成30年度 図書委員会

3組 吉田 風花(前) 鈴木 彩夏(後)	2組 伊藤 真愛 拓翔 金子 優斗	1組 深瀬 太陽 渡辺 汐音	2学年	11組 横尾 拓磨 渡邊 健太	10組 矢萩 太郎(前) 齊藤 栞(後)	9組 鈴木 さくら子 中川 耀斗	8組 大河原 陽 櫻井 幹太(後) 鈴木 智也(後)	7組 大東はるか(前) 菅野 真生(前)	6組 齋藤 泰樹 古澤 和馬	5組 高野 史菜(前) 丹野 杏(後)	4組 滝口 洸 富樫 聡太	3組 佐々木 悠吏 菅野 一花(後) 椎名 悠真(後)	2組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	1組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	1組 黒田 拓磨(前) 佐藤 皓芽(前)	2組 高橋 崇斗(後) 西塚 暁羽(後)	3組 対知 功礎(後) 友井 悠資(後)	4組 高橋 櫻(前) 久家 隼吾(前)	5組 菅野 一花(後) 椎名 悠真(後)	6組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	7組 佐藤 妃夏(前) 山口 未南(前)	8組 菅野 一花(後) 椎名 悠真(後)	9組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	10組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	11組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	12組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	13組 阿部 優作(後) 竹田 尚人(後)	1組 新関 和貴 箭柏 風成	2組 青木 郁真 菅原 侑磨	3組 石山 夏生 佐藤 翔音	4組 菅原 悠人 那須 悠杜	5組 板垣 朱莉 設楽 唯	6組 吾妻祐伽子 大場 美結	7組 高橋 和花 松坂なつみ	8組 奥田 恭介 高松 大暉	9組 二瓶 真衣 滝口 凌	10組 大内 開登 大沼 裕介
----------------------	-------------------	----------------	------------	-----------------	----------------------	------------------	----------------------------	----------------------	----------------	---------------------	---------------	-----------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	---------------	-----------------

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ

1学年	委員長 3年9組 二瓶 真衣	副委員長 3年8組 奥田 恭介	グループリーダー A 3年7組 高橋 和花	B 3年6組 大場 美結	C 3年10組 大内 開登	2年生代表 2年9組 原田 唯菜
2学年	委員長 2年13組 阿部 壮男	副委員長 2年9組 原田 唯菜	グループリーダー A 2年13組 恒儀 晃太	B 2年12組 小山 璃乃	C 2年7組 矢口 つつみ	1年生代表 1年10組 鈴木 さくら子



《執行部》このメンバーを中心に日々活動しています。

編集後記

2018年は、地震や豪雨など自然災害の多い1年でした。日頃の災害への備えや人と人との繋がり、支え合う心の大切さを改めて感じています。今号も、みなさんの協力により発行することができました。朝や放課後の時間帯を有効に使い学習に励んでいる生徒や、たくさんの本を借りて読んでいる生徒の姿を見て、図書館が多くの人から利用されていることを実感しました。これからも生徒や教職員が利用しやすく、よりよい図書館の環境づくりに努めていきたいと思ひます。(佐藤(沙))